



わらしべの里通信

社会福祉法人
わらしべの里

第7号(通巻21号)

発行日
2006年2月1日

発行所
わらしべの家パソ工房



日帰り訓練を実施

昨年12月2日、宇都宮市西川田にある「栃木県子ども総合科学館」へ日帰り訓練が実施されました。今回の「訓練」の目的は、「公共交通機関を使い極力自力で目的を達成する」ことが主に焦点とした訓練でした。

いままでは、仲間たちが外出する際には保護者や職員などが自動車で直接目的地まで『送迎する』ということがほとんどでしたが、仲間たちの将来を考えると、全て人任せでは『真の意味での自立』に程遠いのでは?という考えから、今回、わらしべの家初となる「自立」に向けた訓練を実施したのです。

途中のコンビニエンスストアで「決められた金額以内で自分の分の昼食を買う」といった課題を設定することにより、数ある商品の中から「自己選択と自己決定」が行えるようになることも目的とされました。

9時30分、わらしべの家を出発。新栃木駅まで歩いて行き、駅では切符を買うのに券売機に悪戦苦闘する仲間もいれば、すんなりと目的地までの切符を購入できる仲間もいたりなど…。しかし全



初めて電車に乗る仲間も…

員無事に切符を購入し、電車に揺られながら東武西川田駅に到着。

しかし、残念ながら東武西川田駅にはスロープもエレベーターもないため、車椅子の仲間の階段の乗降は駅員さんの協力を得て移動することに…。でも駅員さんの協力を得て仲間たちが目指す「子ども科学館」へ向けて再出発!

途中コンビニで昼食を買い現地でご昼食を摂り、約1時間ほど館内を散策しました。館内には宇宙に関する科学から身近な科学に関するアトラクションがあり、それぞれ初めての経験にみな興奮気味ながらも楽しく科学の勉強ができたようでした。

一通り楽しんだ後、一路わらしべの家へ。途中慣れない体験で疲れてしまったのか、車内でウトウトする仲間も。

帰りの車内から果てなく続くレール眺めていたら、ふと、「人生レール」について、一人物思いにふけっていた。

人生のレールには、様々な終着駅があることだと。その終着駅まで各駅停車で向かうか、特急で向かうかは乗客次第だということ…



「カルフルとちぎ」

2005

昨年11月24日、毎年恒例の栃木県障害者文化祭「カルフルとちぎ2005」こころのつどい」が宇都宮市文化会館で開催され、今年もわらしべの家は「合唱部門」に出場しました。今回歌った合唱曲は 6

おさんぽ

わらしべの里は、昨年後半から特に忙しかった。

その前の年に購入してあった東側の一部地続きの土地と建物を整備して、第2作業所とする計画が動き出したのである。それに必要な資金には多額な「日本財団様の改修費助成金」をいただいている。心から感謝!

この第2作業所が活用され、障害者自立支援法に向けた大きな力・拠点となることを願っている。

金坂直仁

合唱部門」に出場

の「WAになって踊ろう」手話歌パージョン」を舞台上披露しました。「今年も楽しめたのでよかった」との感想が多く述べられました。





昨年後半を一挙公開!

ではここで、昨年秋以降の主な出来事を一挙にご紹介! みなさん、この左の写真 いったいなんだか分かりますか?



そう、これは昨年10月に栃木市総合運動公園にて開催された「とちぎ協働祭り」で出展された

「コアラ」の巨大なぬいぐるみ?です。ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、従来「ふれあいのつどい」は独立して開催されておりましたが、昨年から「とちぎ協働祭り」と合同で開催され、もちろんわらしべも参加・出展しました。



当日は当施設の主力授産製品である「さをり織り」製品の展示即売会や、プリーティー栄養士『なおこ』の



「愛のイモフライ」(一本百円)が好評の内に完売したり、関係者の協力を得て集めた「バザー」も午



後には完売するなど、晩秋の青空と同様に気持ちよく売り上げが目標に達しました。

また11月には毎年恒例の「栃木市障害者施設協議会(通称・栃障協)」主催による運動会が栃木市総合運動公園・体育館で



開催され、各施設より百名を超える仲間たちが集まり各競技に汗を流しました。でも、最も白熱したのは「職員対抗 玉入れ合戦」だったよな・



これは決して「ゴミ」の写真ではありません。アルミ缶を下のように潰し、まとめて



アルミ缶は大切な“資源”です

「リサイクル」施設に回し、これが仲間たちの工賃の財源になる『大切な商品』なんですよ!



僕は常に車イスを使用している仲間の一人です。現在、思うことは二つあります。一つは道路の問題です。わらしべの家まで自分の力で通勤を挑戦してみたいという夢です。今の状態では狭い道路や、凸凹道や砂利道になっているので僕一人ではとつても危険です。そのためには、道路の幅を広げて、平らな道にして頂けると誰でも使いやすい道路になってくれると思います、僕一人でも安心して街の中にもいけるようになると思います。

僕の夢は二つ

私の介護にしてくれるのだろうか、という不安はいつもあります。二十四時間の入所施設がありますが、僕は、以前に二年間施設に入所したことがありません。ここでは、お昼と寝るところが同じ屋根の下で入所者と一緒に共同生活で交流したり、テレビをみたりして過ごしている状態でした。僕は施設の中で人生を送らされるのかなどと思い、さびしくなりました。地域の中で人と付き合ひし、そして街の中へ行って買物したりという当たり前の生活を送りたいという夢です。自立をめざしてこれからの人生を力いっぱい生きていきます。(範)





テキサス州立大学地質学教授 ホームステイ記

栃木市国際交流協会のルートで、アメリカ テキサス州立大学の地質学教授であり、大学内の国際交流の面で、学生を指導・援助されているホールマンさん(68歳)が、施設長の自宅にホームステイすることとなった。



以下は、6月28日の夕方から、30日の午前中まで、お付き合いした施設長のコメント(印象記)である。

成田空港まで迎えに行った栃木市のバスが、太平山の茶店に帰ってきたのが、午後四時。私たちのご対面である。主賓のホールマンさんを囲んで、理事長を含め三人で、市内のフランス料理を楽しんだ。ポトルの赤ワインを飲みきって、あとは私たちの自宅のクーラーつきの一部屋でゆっくり休んでいただいた。



Mr.ホールマン

利用者者と職員全員三十四人に紹介した。知的障害や身体障害の人たちに近づき、声をかけていた。通訳は施設の職員の一で、自分がこの四年間、マンツーマン



日本の伝統食文化のお味はいかが？

に、その時の状況から内容を判断する広いお気持ちがあったからでもあろう。

その後、施設長と理事長の案内で、宇都宮の大谷に行き、地下の穴倉に入ったことである。特に猛暑が続いた日々のなか、そこはとも寒いくらいに、涼しくて、ホールマンさんも一息つけたようであった。

三日目の朝、皆川中学校までお連れしたとき、女性の英語の先生が、とても流暢な英語を話されていた。カナダに何年か居られたとのこと。私は思わずホールマンさんに「あなたは今日はラッキーです。良い通訳がいるから」と言ってしまった。

五十年前の、私の中学時代、こんな環境にはなかった。当時は名古屋市内に住んでいた。日曜日には公園に出かけ、そこを散歩しているアメリカ海軍の水兵さんをつかまえ、「日本の学校では英会話は教えてくれない。ちょっとおしやべりにつきあってください。」と言って、震えながらカタコトの会話をしていた。体で覚えてきた、私の英会話であった。



「地質学教授」、宇都宮の大谷石を探訪。



「国際化時代」はこの日本でも、当たり前前になってきた。栃木市の中学生や高校生も、組織的に実践力のある英語の力を身につけつつあることを、私自身がホールマンさんとともに過ごし、実感することができた。

この皆川中学校のプログラムを最後に、ホールマンさんは中国に向かわれた。無事に、健康でアメリカ・テキサスの大学に戻られ、これからも国際交流に貢献していただけることを願っている。(金坂直仁)



See you next time!

Mr.ホールマン!
またのお待ちして
まーす♡





わらしべの家
資金収支計算書 平成16年4月1日～平成17年3月31日

科目	金額	科目	金額
授産事業収入	2,404,914	授産事業支出	2,279,568
請負事業収入	2,025,374	請負事業支出	1,993,742
自主製品事業収入	193,750	自主製品事業支出	68,751
IT事業収入	185,790	IT事業支出	217,075
利用料収入	50,128,300	人件費支出	28,486,465
利用料収入	50,038,400	職員俸給	16,059,600
利用者負担金収入	89,900	職員諸手当	6,928,977
経常経費補助金収入	50,000	非常勤職員給与	2,406,379
経常経費補助金収入	50,000	退職金	61,000
寄附金収入	1,001,000	退職共済掛金	343,500
寄附金収入	1,001,000	法定福利費	2,687,009
雑収入	633,700	事務費支出	7,966,120
雑収入	633,700	福利厚生費	211,836
受取利息配当金収入	253	旅費交通費	534,355
受取利息配当金収入	253	研修費	33,220
施設整備等積立預金取崩収入	10,000,000	消耗品費	135,241
施設整備等積立預金取崩収入	10,000,000	器具什器費	78,613
		印刷製本費	406,709
		水道光熱費	326,533
		燃料費	173,256
		修繕費	3,198,731
		通信運搬費	148,466
		会議費	3,760
		広報費	147,288
		業務委託料	615,296
		手数料	11,130
		損害保険料	898,500
		賃借料	708,334
		租税公課	20,100
		雑費	314,752
		事業費支出	5,601,250
		給食費	2,153,596
		保健衛生費	166,307
		教養娯楽費	76,858
		日用品費	77,101
		水道光熱費	690,056
		燃料費	346,523
		消耗品費	151,946
		器具什器費	223,751
		賃借料	1,705,500
		雑費	9,612
		経理区分間繰入金支出	750,000
		経理区分間繰入金支出	750,000
		固定資産取得支出	15,642,343
		建物取得支出	7,566,321
		土地取得支出	8,076,022
		積立預金積立支出	6,300,174
		施設整備等積立預金積立支出	6,300,174
		その他の支出	240,000
		その他の支出	240,000
		小計	67,265,920
		当期資金収支差額合計	▲3,047,753
合計	64,218,167	合計	64,218,167

前期末支払資金残高	5,222,257
当期末支払資金残高	2,174,504

社会福祉法人わらしべの里
貸借対照表 2005(平成17)年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	10,019,377	流動負債	6,890,340
現金預金	5,102,863	未払金	6,725,970
未収金	4,916,514	預り金	164,370
固定資産	62,445,394	固定負債	792,600
基本財産	47,936,740	退職給与引当金	792,600
建物	35,943,518	負債の部合計	7,682,940
土地	11,993,222	純資産の部	
その他の固定資産	14,508,654	基本金	9,417,200
構築物	2,060,009	基本金	9,417,200
車両運搬具	731,308	国庫補助金等特別積立金	25,280,454
器具及び備品	2,081,610	国庫補助金等特別積立金	25,280,454
権利	180,000	その他の積立金	7,762,327
施設設備等積立預金	7,762,327	設備整備等積立金	7,762,327
その他の固定資産	1,693,400	次期繰越活動収支差額	22,321,850
		次期繰越活動収支差額	22,321,850
		(うち当期经营活动収支差額)	10,060,335
		純資産の部合計	64,781,831
資産の部合計	72,464,771	負債及び純資産の部合計	72,464,771

法人本部会計
資金収支計算書 平成16年4月1日～平成17年3月31日

科目	金額	科目	金額
寄付金収入	37,000	人件費支出	184,140
寄付金収入	37,000	役員報酬	184,140
受取利息配当金収入	1	事務費支出	611,714
受取利息配当金収入	1	旅費交通費	449,510
経理区分間繰入金収入	750,000	消耗品費	420
経理区分間繰入金収入	750,000	通信運搬費	24,980
		会議費	41,386
		広報費	6,300
		業務委託料	30,950
		手数料	270
		租税公課	15,000
		雑費	42,898
		小計	795,854
		当期資金収支差額合計	▲8,853
合計	787,001	合計	787,001

前期末支払資金残高	963,386
当期末支払資金残高	954,533

短期入所事業は実績がなかったため資金収支計算書はありません。



～おまけ写真～



『わらしべの里通信』第7号(通巻21号)

発行元 社会福祉法人わらしべの里
 発行責任者 金坂 直仁
 編集者 わらしべの家パソ工房
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
 電話 0282-27-1627
 ファックス 0282-27-1675
 E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp
<http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/>

— 編集後記 —
 ・遅ればせながら新年明けましておめでとございます。本年もわらしべの里通信をよろしく願います。
 実は本号の発行は昨年未を予定しておりましたが、2ヵ月遅れの発行になってしまいました。発行がおり幅に遅れてしまったことに心よりお詫び申し上げます。(誰にだ！)
 毎度まいど鬼より怖い？担当職員から、締め切りに間に合わんぞーと文句を言われ編集作業をしておりますが、今年こそ、本当に今年こそ期限どおりに発行したいと思っております。(渡邊)
 ・あ、今回も大幅に発行が遅れてしまった(残念！)。でもその理由は、「新年とともに新しい紙面に変えよう！」と提案した担当職員に責任があるのでした。
 でもみなさんどうですか。新しい紙面構成は？ まだまだな点も沢山ありますが、最新情報をこれからも発信してまいります。(雅)